



平成 29 年 7 月 20 日

各 位

会社名 神 栄 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 小野 耕司
(コード番号 3 0 0 4 東証 1 部)
問合せ先 執行役員 経営戦略部長 長尾 謙一
(TEL. 0 7 8 - 3 9 2 - 6 9 1 1)

当社連結子会社における不正な取引行為に関するお知らせ

このたび、当社の連結子会社である神栄（上海）貿易有限公司（以下、「神栄（上海）」
といいます。）におきまして、不正な取引行為が判明いたしましたので、下記のとおりお知
らせいたします。

記

1. 不正な取引行為の概要

神栄（上海）において、平成 27 年（2015 年）以降、取引拡大中であつた取引先との間
に発生した滞留債権を隠蔽するために、同取引先及びその関連先と繰り返し実体の伴わ
ない仕入及び売上を架空計上するという不正な取引行為が行われました。

損益への影響額は精査中ではありますが、現時点までの調査では、平成 28 年 3 月期及び
平成 29 年 3 月期の 2 年間において、売上高約 600 百万円、売上原価約 580 百万円、売上
利益約 20 百万円の架空計上があつたと推定されます。

また、現在把握している不正な取引に関与したとみられる取引先に対する当社グルー
プの平成 29 年 6 月末時点の債権総額は約 330 百万円、また当該取引先から仕入れた在庫
は約 50 百万円であります。債権につきまして回収可能性、在庫につきましては実在性の
有無等を精査しております。

2. 今後の対応

現在、社内規程に基づき代表取締役社長を委員長とする委員会を設置し、詳細な事実
関係の解明に向けて社内調査を実施しており、今後、早急に全容解明を図るとともに、
再発防止策を検討してまいります。

本件につきましては、現在のところ過年度決算を訂正することとしており、平成 30 年
3 月期第 1 四半期報告書の提出期限である平成 29 年 8 月 14 日までに確定させ、開示す
べく社内調査を進めております。また当期の連結業績予想の修正が必要と判断されまし
た場合は、速やかに公表いたします。

株主・投資家や取引先の皆さまをはじめとする関係者の皆さまには、多大なるご迷惑と
ご心配をおかけいたしますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上